【週報】あかし保健所管内 定点把握・全数把握 感染症発生動向調査2025年第39週(2025/9/22~2025/9/28)

<定点把握対象感染症発生状況(定点医療機関あたり患者数)>

小児科定点(7医療機関)												
<i>÷÷41</i> +	2025年											
疾病名称 【 <u>警戒レベル基準</u> 】	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週		
I E WV WETT	7/21~	7/28~	8/4~	8/11~	8/18~	8/25~	9/1~	9/8~	9/15~	9/22~		
RSウイルス感染症	0.29	1.14	2.00	0.14	0.57	1.14	1.14	1.00	3.14	1.14		
咽頭結膜熱【3.00~】	0.29	0.29	0.29	0.00	0.00	0.14	0.57	0.43	0.00	0.00		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 【8.00~】	0.29	1.14	0.29	0.43	0.86	1.29	1.86	0.86	1.14	0.86		
感染性胃腸炎 【20.00~】	4.86	5.71	5.71	0.14	5.86	6.43	5.57	7.43	7.71	5.14		
水痘【2.00~】	0.14	0.57	0.14	0.00	0.14	0.57	0.57	0.71	0.29	0.14		
手足口病【5.00~】	0.43	0.00	0.29	0.00	0.14	0.00	0.29	0.29	0.29	0.14		
伝染性紅斑【2.00~】	3.14	4.57	2.43	0.57	3.43	2.57	3.71	4.00	2.57	2.71		
突発性発しん	0.14	0.29	0.57	0.00	0.14	0.14	0.29	0.29	0.29	0.29		
ヘルパンギーナ【6.00~】	1.00	1.29	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
流行性耳下腺炎【6.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点(11医療機関)														
<i>ċ.ċ.a1</i>		2025年												
疾病名称 【 <u>警戒レベル基準</u> 】	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週				
I E/WV: W至十】	7/21~	7/28~	8/4~	8/11~	8/18~	8/25~	9/1~	9/8~	9/15~	9/22~				
インフルエンザ【30.00~】	0.00	0.00	0.18	0.27	0.36	0.09	0.27	1.27	0.45	0.64				
新型コロナウイルス感染症	2.27	3.45	3.45	2.64	5.45	5.55	8.00	5.73	5.18	4.64				

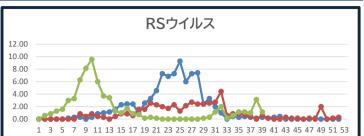
眼科定点(2医療機関)														
.÷. ← /2 Th-		2025年												
疾病名称 【警戒レベル基準】	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週				
I E WV W E T I	7/21~	7/28~	8/4~	8/11~	8/18~	8/25~	9/1~	9/8~	9/15~	9/22~				
急性出血性結膜炎【1.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
流行性角結膜炎 【8.00~】	1.00	0.50	1.50	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.50				

<全数把握対象感染症発生状況>

				2025年					202	!5年				
感染症 分類	疾病 名称	2023年	2024年	20254	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
23.88	Пло			(1~最新週)	7/21~	7/28~	8/4~	8/11~	8/18~	8/25~	9/1~	9/8~	9/15~	9/22~
2類	結核	44	60	36	1	1	1	0	0	0	0	2	1	1
3類	腸管出血性大腸菌感染症	11	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
3 ,5 5	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4類	デング熱	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十九	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	1	8	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	アメーバ赤痢	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	9	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水痘(入院例)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	22	29	16	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4	5	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
J X A	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	1	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	播種性クリプトコックス症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	百日咳	0	6	93	5	0	7	2	2	2	1	1	0	3
	麻しん	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性脳炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【週報】あかし保健所管内 定点把握・全数把握 感染症発生動向調査2025年第39週(2025/9/22~2025/9/28)

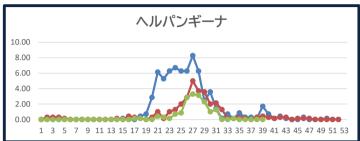






- 2023年 ---- 2024年 --- 2025年

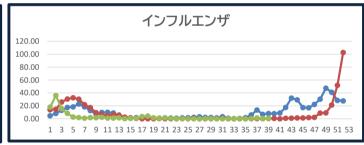




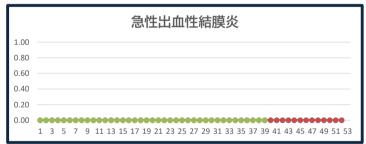




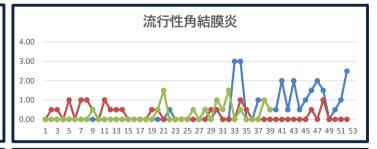




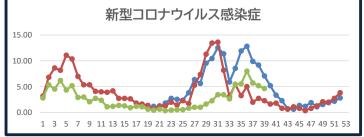












【週報】あかし保健所管内 急性呼吸器感染症(ARI) 感染症発生動向調査2025年第39週(2025/9/22~2025/9/28)

【急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの目的】

急性呼吸器感染症(ARI) の定義に合致する症例数及び収集された検体又は病原体から、各感染症の患者や病原体等の発生数を集計し、国内の急性呼吸器 感染症(ARI)の発生の傾向(トレンド)や水準(レベル)を踏まえた、流行中の呼吸器感染症を把握する。また、新興・再興感染症の発生を迅速に探知する。

【急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義】

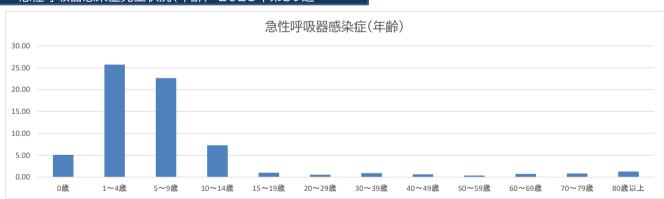
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例。

<定点把握対象感染症発生状況(定点医療機関あたり患者数)>

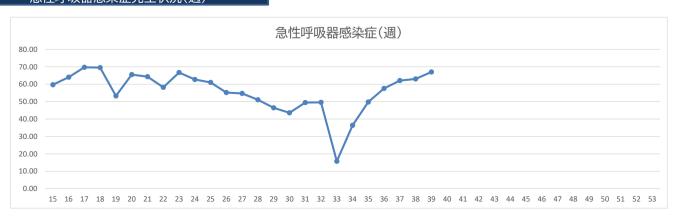
	急性呼吸器感染症定点(11医療機関)										
						202	25年				
	疾病名称	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
			7/28~	8/4~	8/11~	8/18~	8/25~	9/1~	9/8~	9/15~	9/22~
ſ	急性呼吸器感染症	43.55	49.45	49.55	15.73	36.36	49.73	57.55	62.09	63.00	67.00

急性呼吸器感染症定点(11医療機関)													
年齢階級		2025年											
		30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週		
		7/21~	7/28~	8/4~	8/11~	8/18~	8/25~	9/1~	9/8~	9/15~	9/22~		
	0歳	3.45	3.73	3.18	1.18	2.36	4.09	3.91	3.55	4.36	5.09		
	1~4歳	18.73	21.09	20.64	5.55	12.18	18.55	23.45	24.09	27.36	25.73		
	5~9歳	11.55	12.27	13.82	4.09	9.45	14.18	16.36	19.36	17.64	22.64		
【急性呼吸器感染症(ARI)定点の対象疾患の範	10~14歳	4.27	5.00	4.73	1.82	3.55	4.55	6.09	7.64	7.00	7.27		
到	15~19歳	0.82	0.18	0.27	0.27	0.82	0.64	1.09	0.82	0.91	1.00		
具体的にはインフルエンザ、COVID-19、RSウ	20~29歳	0.91	1.09	1.55	0.18	1.55	0.73	0.55	0.64	0.55	0.55		
イルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A	30~39歳	1.00	1.55	0.91	0.73	0.73	1.64	1.09	0.82	0.45	0.91		
群溶血性レンサ球菌咽頭炎、新たに五類感染症 に位置づける「急性呼吸器感染」を対象疾患とす	40~49歳	0.55	0.91	1.45	0.55	1.55	1.45	1.55	1.27	1.00	0.64		
る 。	50~59歳	0.73	1.09	0.64	0.09	1.09	0.73	1.09	1.09	1.00	0.36		
	60~69歳	0.55	0.91	0.45	0.45	1.18	1.00	0.55	1.27	0.91	0.73		
	70~79歳	0.64	0.82	0.91	0.45	0.91	1.18	0.91	1.09	1.18	0.82		
	80歳以上	0.36	0.82	1.00	0.36	1.00	1.00	0.91	0.45	0.64	1.27		

急性呼吸器感染症発生状況(年齢) 2025年第39週



急性呼吸器感染症発生状況(週)



でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

が流行しています!

流行状況

定点医療機関あたりの患者数が、 2025年21週から警戒レベル「2.0」を超え、 39週も「<mark>2.71</mark>」と警戒レベルを超えて継続 しています。



伝染性紅斑とは

ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

リンゴ病

多くの場合、頬に発しんが出現する7~10日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

症状

微熱



風邪のような症状



両頬の紅斑



*妊娠中又は妊娠の可能性のある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や流産のリスクとなる場合があります。

伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法

マスク・手洗い

マスクの着用や流水と石鹸による手洗いをしっかりしましょう。

共有しない

タオルや食器は共用しないようにしましょう。

症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

あかし保健所 保健予防課 TEL918-5421 FAX 918-5441